

京都景観ゼミナール

オンライン開催

主催 京都市都市計画局景観政策課

景観って一体、何だろう？そんな疑問を持つみなさまのため、京都の景観とまちづくりについて学ぶ全3回の連続講座を開講します。全3回を通し、オンラインでの参加者同士の意見交換・交流を交えたプログラムとなっています。詳しくは当センターHPをご覧ください。

定員 20名(先着順) 受講料 無料

会場 ZOOM開催 申込締切 1月7日(木)

申込方法 当センターHP

<http://kyoto-machisen.jp/> よりお申込ください。

※京都市内に在住・在勤・在学し、地域の景観や京都の景観に関心をお持ちの方が対象です。 ※単回の申込はできません。

先着
20名



センターHP

連続講座

① 景観／景観まちづくりってどんなもの？

—景観の基礎知識—

講師 森川 宏剛氏／篁 正康氏
(景観整備機構 NPO法人 京都景観フォーラム)

日時 1月14日(木) 19:00～21:00

② バーチャルまち歩きで景観視点を養おう！

—景観の読み解き方—

講師 山口 敬太氏
(京都大学大学院 工学研究科 准教授)

日時 1月15日(金) 19:00～21:00

③ どんな景観まちづくりがふさわしいのか考えよう！

—ビジョンの考え方—

講師 森本 浩行氏
(京の三条まちづくり協議会 会長)

日時 1月28日(木) 19:00～21:00

京都市景観・まちづくりセンターの活動について

市民・企業・行政によるパートナーシップのまちづくりを推進し、京都らしい景観の保全・創造、質の高い住環境の形成などに取り組んでいます。住民の自主的な活動を支援し、まちづくり活動の拠点として、まちづくりに関する各種の相談に対して助言および情報提供を行っています。

まちづくり相談

地域の状況に応じたまちづくりの進め方について、活用できるまちづくりの制度や他の地域の取組事例などの様々な情報をご紹介するほか、まちづくりの専門家の派遣や、活動費助成(一部)などの支援を行っています。

京町家なんでも相談

京町家の維持・継承に伴う様々な悩みや不安の解消に向けて、様々な情報をご紹介するほか、専門的な内容については、大工・建築士・不動産事業者などの専門家と連携した支援を行っています。

賛助会員募集

当財団の活動趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集しています。会費は、まちづくり活動の支援、京町家の保全、再生に向けた取組、当財団の運営等に活用させていただきます。

年会費 個人1口 5,000円／団体1口 50,000円 特典 ニュースレター

メルマガ会員も募集中。ホームページからご登録いただけます。

※賛助会費は、当財団への寄附金として税法上の優遇措置が適用され、確定申告により所得税・法人税の控除が受けられます。

問合せ先 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階
TEL:075-354-8701 FAX:075-354-8704
Eメール:machi.info@hitomachi-kyoto.jp

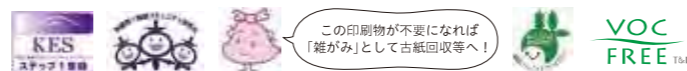
URL:<http://kyoto-machisen.jp>

まちセン 京都

交通機関
バス 市バス4,17,205号系統「河原町正面」下車
電車 京阪電車:「清水五条」又は「七条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線:「五条」下車 徒歩10分
車 立体駐車場(最初の1時間410円、以降30分ごとに200円/45台程度)
※できるかぎり公共交通機関をご利用ください。



(公財)京都市景観・まちづくりセンターは環境負担軽減につとめています。



景観・まちづくり大学

令和2年度
冬季



景観・まちづくり大学は、京都の景観・まちづくりについて多様な視点から学び、考え、実践へとつないでいくことのできる人材を育むことを目指しています。京都らしい美しい景観や、住みよいまちを未来に引き継いでいくために、明日の京都のまちづくりを担う皆さまの活動を応援します。元気なまちへの第一歩、あなたから始めませんか。

冬季 セミナースケジュール

京のまちづくり史連続講座 有料

1月22日(金) 伝統的な減災の知恵と住民視点の防災まちづくり
2月26日(金) 異なる価値観の共存をめざしたまちづくり

地域まちづくりセミナー 無料

3月 2日(火) 他都市に学ぶ、京都の都市デザインの模索
- アフターコロナを見据えて -

京町家再生セミナー 無料

1月27日(水) 伝統構法の建物における防耐火性能
3月 6日(土) 京町家ではじめる『温故知新』な暮らし

京都景観ゼミナール 無料

1月14日(木) 景観／景観まちづくりってどんなもの？
1月15日(金) バーチャルまち歩きで景観視点を養おう！
1月28日(木) どんな景観まちづくりがふさわしいのか考えよう！

京都市景観・まちづくりセンターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、センター入口での消毒液の設置、通常より広い座席間隔の確保、適切な換気などを行います。また、ご参加の皆さまには、マスクの着用をお願いいたします。

発行:公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

令和2年度
景観・まちづくり
大学 冬季

令和2年度 景観・まちづくり 大学 冬季

申込方法	下記の申込先に、いずれかの方法でお申し込みください。
申込先	京都市景観・まちづくりセンター
電話	075-354-8701
FAX	075-354-8704
Eメール	machi.info@hitomachi-kyoto.jp

受付時間：月～土 9:00～21:30、日・祝 9:00～17:00
休館日：毎月第3火曜日(祝日にあたる場合は翌日)
※おかけ間違いにご注意ください。

※申込の際、**セミナー名、氏名(ふりがな)、電話番号**をお知らせください。
 ※申込多数により抽選の結果、参加不可の際に当センターから連絡いたします。
 ※申込後のキャンセルは、**当センターまで、必ずご連絡**をお願いいたします。
 申込受付期限後でも、定員に達していないセミナーは受講を受け付けますので、当センターまでお問い合わせください。
 ※地域まちづくりセミナー、京町家再生セミナー、京都景観ゼミナールのご参加にはZOOMの利用環境が必要です。
 ※京都景観ゼミナールはメールのみの受付となります。詳しくは裏面および当センターHPをご覧ください。

CPD：景観・まちづくり大学は、建築士会CPD制度認定プログラムです。
 建築士等、専門家の方々もぜひご参加ください。

問合せ先 京都市景観・まちづくりセンター
共催 京都市都市計画局まち再生・創造推進室

京のまちづくり史連続講座 受講料(資料代等)：1講座1,010円(学生500円 ※学生証をご提示ください)

まちづくり活動に関わる方、関心がある方、学んでいる方を対象に、京都のまちづくりに取り組むうえでの基礎を体系的に学ぶ全9回の連続講座です。京都のまちがどのように成り立ち現在に至ったか、様々な時代背景の中での人々の営みや、その中で育まれたまちづくりの知恵を学び、見識を深めることで、これからの京都の景観・まちづくりに役立てます。

開催日	テーマ	開催日	テーマ
5月16日(土)	12月12日に振り替え	10月23日(金)	近代京都の基盤整備
6月25日(木)	自治の発展と定着	11月27日(金)	近代建築
7月6日(日)	祭礼とコミュニティ	12月12日(土)	京都文化遺産
8月17日(日)	禁裏と町	令和3年 1月22日(金)	都市災害
9月25日(金)	学区・番組小学校	2月26日(金)	これからのまちづくり

伝統的な減災の知恵と住民視点の防災まちづくり

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：12月16日(水)
申込受付期限：1月20日(水)

講師 大窪 健之氏
 (立命館大学歴史都市防災研究所所長)
日時 1月22日(金) 19:00～21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルーム

私たちの住む日本は、長い歴史の中で、地震や大火、豪雨による川の氾濫、洪水など多くの災害に見舞われてきました。被害を最小限にする「受け流す」治水や、町火消しなどの「防災コミュニティ」の結成など、先人は壊滅的な被害からまちを復興し、災害への備えや協力体制を構築し、度重なる災害を潜り抜けてきました。先人が残した歴史都市・京都を、災害を越えて次代に引き継ぐための知恵を学び、併せて、地域による「住民視点に立った防災まちづくり」の例を学びます。

異なる価値観の共存をめざしたまちづくり

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：12月16日(水)
申込受付期限：2月23日(火)(祝)

講師 高田 光雄氏(京都美術工芸大学教授)
日時 2月26日(金) 19:00～21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルーム

職住一体の街であった京都は、明治時代より学区制度を地域自治の基盤として発展してきました。しかし、マンション等の共同住宅の増加により、職住が分離し、住民同士や、住民と地域とのつながりが希薄化し、自治活動の運営も難しくなっています。京都が持続可能な発展を遂げるため、地域コミュニティを再生し、住民が地域運営に主体的に参加・交流すること、行政・事業者、NPO等と連携し、協働することが重要です。そのために必要な展望を学びます。

京町家再生セミナー 受講料：無料

京町家の所有者や居住者、具体的に京町家の居住や活用を検討している方向けのセミナーです。年間を通して、改修の手法、相続、資金調達、活用方法など、今すぐ役立つ京町家の保全・再生に関する様々な専門知識をわかりやすく学びます。

伝統構法の建物における防耐火性能

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：12月16日(水)
申込受付期限：1月24日(日)

講師 安井 昇氏
 (桜設計集団一級建築士事務所代表)
日時 1月27日(水) 18:30-20:30
会場 ZOOM開催

※ZOOMでの参加が難しい方は、京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルームにてご視聴いただけます(10名限定)

京町家を将来の世代にも引き継ぎたいと思っている方にとって、「木造の京町家は火事に弱いのではないか」という疑問は、保全・再生への大きなハードルになります。伝統構法の建物は本当に火に弱いのか？どうすれば火に強くなるのか？伝統構法の木造建築の良さを生かしながら安全性を得るにはどうすれば良いのか？一級建築士であり、木造建築の防耐火に関する技術開発を行う建築事務所の代表でもある講師に、最新のお話をお聞きします。

京町家ではじめる「温故知新」な暮らし

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：12月16日(水)
申込受付期限：3月3日(水)

講師 美濃羽 まゆみ氏
 (手づくり暮らし研究者)
日時 3月6日(土) 14:00-16:00
会場 ZOOM開催

※ZOOMでの参加が難しい方は、京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルームにてご視聴いただけます(10名限定)

京町家から「ものを作る、幸せのかたちを作る」をテーマに、手づくりのあるほんのりていねいな暮らしを提案する美濃羽まゆみさんに、京町家での日々の暮らしと仕事、古い建物に住まう極意、京町家ならではの暮らしの楽しみなどについてお話いただきます。古い建物にお住まいの方も、そうでない方も、毎日の生活に京都の生活文化を取り入れるヒントにいただけます。



築約100年の京町家の内装
 (写真提供：美濃羽まゆみ氏)

地域まちづくりセミナー 受講料：無料

京都市内にお住まいの方や京都のまちづくりに関心をお持ちの方を対象に、まちづくりを始めるきっかけ作りや、まちづくりに関するより実践的な方法や事例をお伝えするセミナーです。

他都市に学ぶ、京都の都市デザインの模索-アフターコロナを見据えて-

定員50名 (申込多数の場合は抽選)
申込受付開始：12月16日(水)
申込受付期限：2月27日(土)

講師 嘉名 光市氏(大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻教授)
日時 3月2日(火) 18:30-20:30
会場 ZOOM開催

※ZOOMでの参加が難しい方は、京都市景観・まちづくりセンター
 ワークショップルームにてご視聴いただけます(10名限定)

コロナ禍以前、京都では京町家が飲食店や宿泊施設として盛んに活用されていました。しかし、コロナ禍により飲食業や宿泊業は不振となり、それとともに京町家の継承のための活用手段も少なくなりました。京町家とその文化の継承のために必要なのは、観光業の復活なのか。京都という都市の将来像をどのように描けば、京町家とその文化に代表される「京都らしさ」を失わずにすむのか。このセミナーでは、様々な困難や危機に対応しながら新たな道を模索する他都市の事例を学びつつ、これからの京都のあり方を考えるきっかけとします。

